

TCと活性炭とのアンモニア吸着比較

製紙メーカーでの試作塗工紙での吸着樹脂の件

TC・テクノカーボンの紹介

消臭紙試験 020705

時間	A	B	イ	ロ
0	760	760	760	760
0.3	600	150	700	450
1	560	100	540	440
6	400	30	350	320
10	400	20	300	150
24	300	8	180	150

0:ブランク
0.3~24Hr

A・B 不織紙
イ・ロ 紙

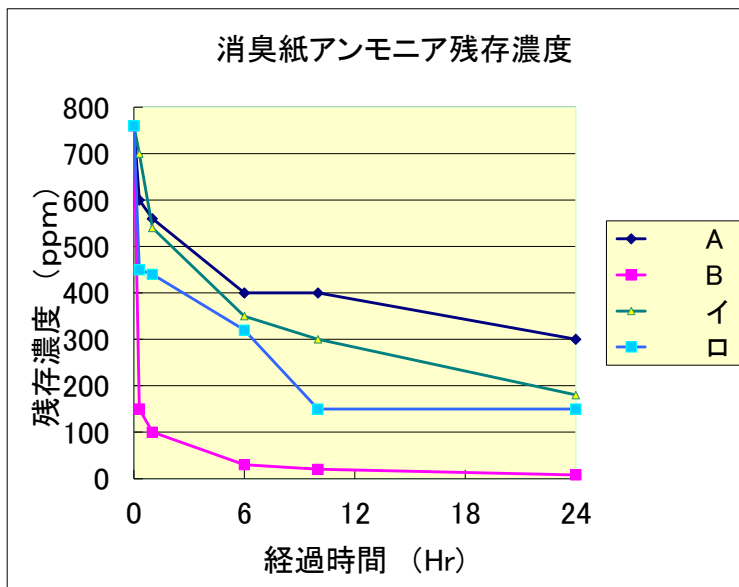
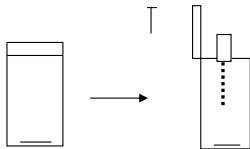
	TC	活性炭
樹脂PH	6~6.5 酸性サイド	8~12 アルカリサイド
リリース性	リリースしない 離さない。	リリースする 吸着物を外部刺激で 離す。
アンモニア 吸着力	◎	△
エチレンガス の吸着	○ 野菜・魚の 鮮度保持性	×

特長

- ①アルカリサイドの極性物の吸着に優れる。
- ②吸着して物を離さないことで使用目的の環境改善を保持する。
波等の外的要因でもリリースしない。
海水・淡水での養殖場でPH安定効果。
- ③合成ラテックス等エマルジョンバインダーとの配合安定性も良く、繊維、紙への塗工・内添・含浸使用が出来る。
- ④安全性にも支障がない。
- ⑤エチレンガスの吸着にも優れ、果実・野菜などからのエチレンガスを吸着し、腐敗速度を遅らせる。
- ⑥市販活性炭との主な違い。

3Lの密閉ガラスポットに5cm角の試料をいれる。(ポット内残存濃度ppm)

0.35%のアンモニア水を1cc試料の上に落とし所定の時間にガス検知器で濃度測定
ブランクは試料を入れずに0.35%アンモニア水1cc落とし20分後の測定結果とした。
(ブランク760ppm)



試験紙の内訳	
不織布 A	活性炭
200g/m ² B	TC
紙 イ	活性炭
30g/m ² ロ	TC

TC-ご紹介の樹脂

考察 市場活性炭比較においても、目的試材、テクノカーボン[TC]のほうが吸着効果が顕著にみられた。